

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	子育て情報リーフレットの制作について 平和の日記念事業について 子育て支援策のキャッチフレーズについて など
日 時	平成 29 年 1 月 24 日（火） 14 時～17 時
場 所	第 2 委員会室
出席者	伊賀広報アドバイザー 市長公室広報課長及び同課職員 3 人 人権政策室職員 3 人、総合政策部政策推進課課長、子ども青少年部子育て事業課長、保育幼稚園課長
主な意見	<p>&lt;子育て情報掲載リーフレットの制作について&gt; 担当課としては伝えたいことが多くあるため、掲載内容が多すぎたり、表現が固くなったりしがち。表現が生活者視点になっているか意してほしい。</p> <p>&lt;担当課からアドバイザーへの相談希望があった平和イベントについて&gt; 「平和の燈火」 *事業の改善について 動員を増やしたいのか、それとも啓発を深化させたいのか、どちらかなのかを明確にし、改善の方向性を考えた方がよい。 *効果の測定について 参加者数以外にも評価基準を持つとよい。平和について考える機会になったかという理解度を問うことも検討してもよい。屋外でも協力してもらいやすい意見の聞き方を工夫はできると思う。</p> <p>「平和フォーラム」 *1部と2部の構成について 子どもの発表を観に来る保護者が多いのであれば、小学生の発表を拡大する形に事業を見直してもよいのではないかと。第1部は小学生の発表、第2部は講演会という現在の形式に縛られる必要はない。</p> <p>*申し込み方法について 申し込み方法は電話やファクスだけでなく、インターネットからでもできるように用意するべきではないかと。電話では平日午前9時～午後5時30分にしか申し込むことができず、働いている世代にはハードルが高い。シニア世代もパソコンを使っていた人は多いはずなので、インターネットの方がありがたいのではないかと。</p> <p>&lt;アドバイザーへの相談希望があった子育て支援施策のPRについて&gt; *キャッチフレーズについて 「子育てが楽しい」などは、市民が感じることである。市の取り組み</p>

	<p>スタンスが分かるフレーズとして、例えば、「応援します」「待機児童ゼロへ」などが良いのではないかと。</p> <p><b>*他市にない事業が一番のPR</b></p> <p>一番効果的な情報発信は、他市にない工夫を凝らした支援事業を打ち出すことだと思ふ。枚方市が一番に取り組んだという支援事業が注目を集めるのではないかと。</p>
事務局	市長公室 広報課